

| | | | | | |
|----|---------|------|--------|-----|------------|
| 地域 | 関東(栃木県) | 事業分野 | 製造(機械) | 認定日 | 平成18年6月13日 |
|----|---------|------|--------|-----|------------|

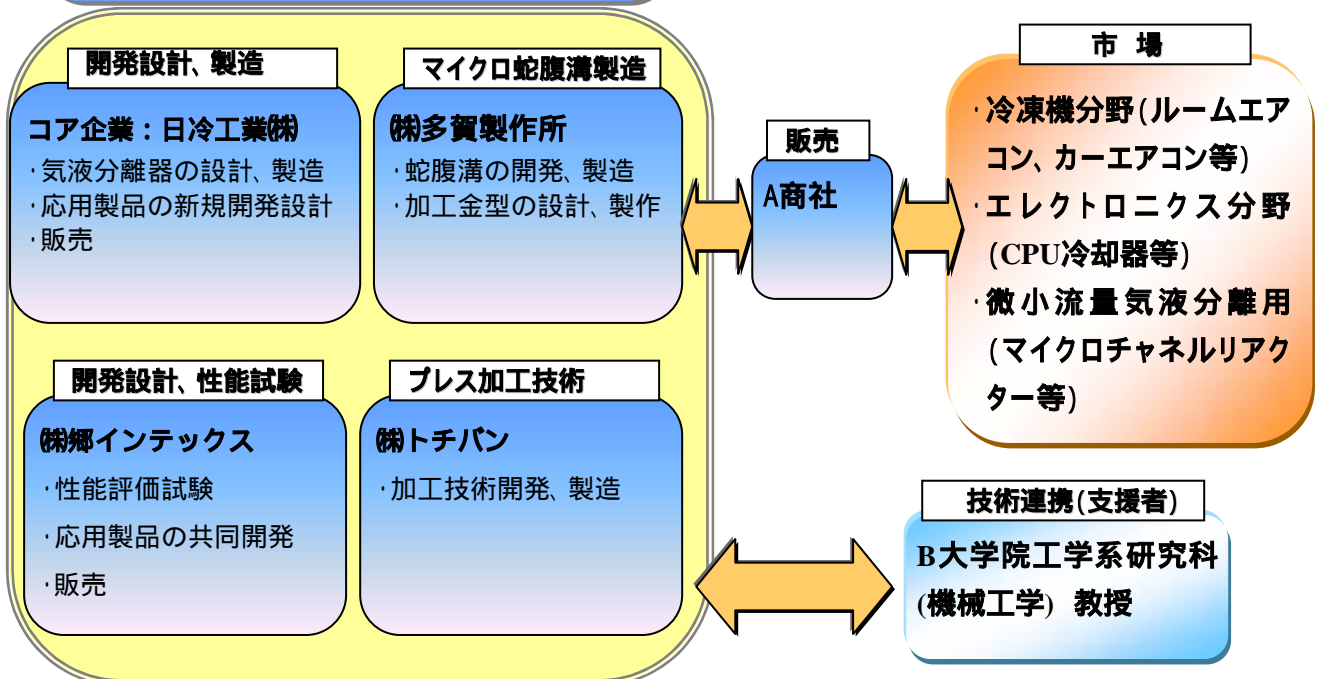
テーマ名: マイクロ蛇腹溝応用製品の開発と事業化

事業計画の概要:

- ・ 近年、家電メーカーは省エネ、CO2 削減の面から、すべての部品や材料で省エネ設計が検討されており、省エネ、CO2 効果が販売戦略の重要な要素となっている。
- ・ 本事業では、冷凍機(エアコン、カークーラ、自販機、CPU 小形冷却ユニット等)の熱交換効率の向上を図るため、小形で高性能な気液分離器を開発した。冷凍サイクルにおける気液混合冷媒を蛇腹形状の薄肉銅板の表面張力作用により効率的に気液分離する。
- ・ この気液分離器を冷凍機に適用することにより、大幅な省エネを実現、CO2 削減の面でも大きな貢献が期待できる。

コア企業: 日冷工業(株)(栃木県大平町:自動車部分品、付属品製造業)
連携中小企業: 郷インテックス(株)(滋賀県草津市)、(株)多賀製作所(埼玉県さいたま市)
 (株)トチバン(栃木県岩舟町)

連携体の構成



連携の特徴

コア企業がB大学との産学連携により研究開発した「気液分離器」を技術力の高い連携体との連携により商品化が実現。

新事業

表面張力作用を利用したマイクロ蛇腹溝気液分離器を開発。従来の重力式と比べ、小型で設置姿勢の自由度が高く、省エネ効果が高い。

市場性

本製品導入により省エネルギー性評価指標であるCOPの大幅な向上が図れ、エアコン市場において大きな需要が見込まれる。

支援予定メニュー

事業化・市場化補助金